

<p>【技術の名称】 スマートベース工法 一定着金物とねじ節鉄筋 SD490 を用いた鉄骨露出型柱脚工法－（改定 3）</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第 04-07 号 改 3 性能証明発効日：2016 年 4 月 14 日</p> <p>【取得者】 株式会社大林組 東京鉄鋼株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、JIS G3112 に適合するねじ節鉄筋 SD490 をアンカーボルトとし、その所定位置に機械式定着金物を結合したものを基礎に接続する鉄筋コンクリート造柱型部に配置することによって鉄骨露出型柱脚を構築する工法である。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第 04-07 号（2004 年 5 月 11 日）
 改定 1：GBRC 性能証明 第 04-07 号 改（2005 年 9 月 6 日）
- ・柱型部帯筋の構造細則の変更
- 改定 2：GBRC 性能証明 第 04-07 号 改 2（2009 年 11 月 10 日）
- ・終局時軸力制限値の適用範囲の変更
- 改定 3：GBRC 性能証明 第 04-07 号 改 3（2016 年 4 月 14 日）
- ・角形鋼管柱断面制限値の変更
 - ・角形鋼管柱材種の追加
 - ・ベースプレート形状、アンカーボルト本数・配置についての制限の削除
 - ・柱脚部のせん断耐力の変更
 - ・摩擦抵抗力に寄与するベースプレート下面の圧縮応力算定法の変更
 - ・充填モルタル強度の下限値の変更

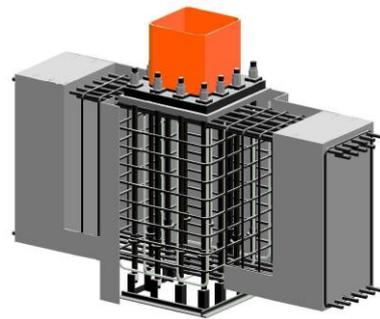
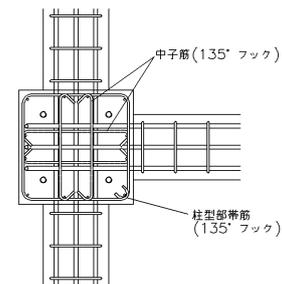


図 1 概念図



【技術開発の趣旨】

本技術は、従来の鉄骨露出型柱脚よりも施工性を向上させ、かつ、設計で要求される柱脚部の剛性、耐力および変形性能を確保することを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「スマートベース工法 設計施工要領書」に従って設計・施工された鉄骨露出型柱脚部は、同要領書で規定する回転剛性、終局耐力および変形性能を有し、かつ、同柱脚部の短期許容耐力に達する荷重を繰り返し経験しても修復性を損なうひび割れを残留させる等の損傷を起こさない。

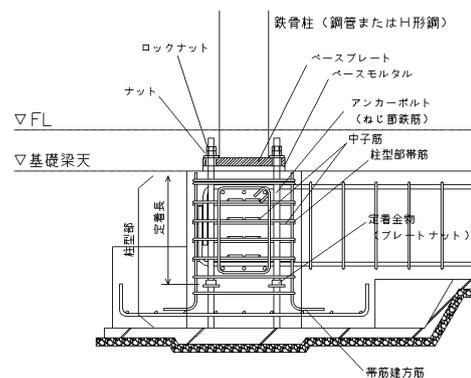


図 2 外柱納まり図

【本技術の問合せ先】

株式会社大林組 担当者：山田 能功
 〒530-8520 大阪市北区中之島 3-6-32 ダイビル本館
 東京鉄鋼株式会社 担当者：飛田 祐作
 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング 11 階

E-mail: yamada.yoshikatsu@obayashi.co.jp
 TEL: 06-6456-7103 FAX: 06-6456-7198
 E-mail: yusaku_tobita@tokyotekko.co.jp
 TEL: 03-5276-9706 FAX: 03-5276-9713